allcinema

トランス／愛の晩餐（1982）

TRANCE
DER FAN

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ホラー　音楽
製作国 西ドイツ
時間 90分
初公開日 1984/11/03
公開情報 大映インターナショナル＝メジャー＝東映クラシック

【解説】
“R”と呼ばれるロック・シンガーにただひたすら夢中の少女。繰り返し書いたファンレターの返事がいつまで待っても来ない事から、直接会いにいくと、偶然にも“R”の目に留まり、少女はいつの間にか“R”の別荘へ招かれていた。そして、そこで夢のようなひとときを過ごすのだが、彼女の独占欲はそれだけではおさまらなかった……。ファンの異常心理を突いた作品の中でも、カリバリズム（人肉嗜好）に焦点を当てた問題作。彼女が“R”を殺してしまう中盤までは、テンポも遅く、本筋にあまり関係ない描写も多いためにダレるが、いよいよ解体作業に入ってから異様な雰囲気が漂ってくる。もっとも残酷趣味を狙った作品ではなく、描写は間接的になっており、そこがこの作品の弱さと言ってもいいだろう。センセーショナルな題材を扱っておきながら、土壇場で臆したーーそんな印象を受けてしまうのだ。憧れのスターを切り刻み、その血だまりの中でのたうちまわり、内臓でファックするーーそれぐらいの気概があれば変態映画として充分に映画史に名を残せたかも知れないのに……（今のドイツ映画なら、やるな）。ただし、丸坊主になった主人公が道端で、粉末状になった“R”の骨を撒くラスト・シーンはかなりインパクトがある。

【クレジット】

監督	エックハルト・シュミット	Eckhart Schmidt	
製作	バーバラ・モールセ	Barbara Moorse	
	マルティン・モスコヴィッツ	Martin Moszkowicz	
脚本	エックハルト・シュミット	Eckhart Schmidt	
撮影	ベルント・ハインル	Bernd Heinl	
編集	パトリシア・ロンメル	Patricia Rommel	
音楽	ラインゴールド	Rheingold	
出演	デジレー・ノスブッシュ	Desiree Nosbusch	シモーヌ
	ボド・スタイガー	Bodo Steiger	R
	シモーネ・ブラーマン	Simone Brahmann	Rの秘書
	クリスチャン・シモン		

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.